

# よこはまし ちいきにほんごきょういく にほんごがくしゅうしえん 横浜市の地域日本語教育(日本語学習支援)のプラン

【簡単なまとめ】

やさしい日本語

## プランを作る理由

横浜市は、横浜に合った、地域日本語教育(日本語学習支援)をもっと充実させていきたいです。そこで、横浜市内の日本語学習支援のことを調べました。そして、日本語教育に関係するいろいろな団体や横浜に住む人たちと一緒に多文化共生を進めるため、このプランを作りました。

【期間】 2025年度から2029年度(約5年間)

国や横浜市の、社会の環境や制度の変化などをみて、必要があればプランを変更します。

## プランの考え方

### ● 考え方

子どもから大人まで、誰もがいつでも日本語学習ができる手伝いをします。これにより多文化共生のまちづくりを進めます。

### ● 将来なりたい横浜の姿

日本語を使って、自分のことや気持ちを伝え合います。そして、横浜に住む外国人と日本人がお互いの理解を進め、よい関係をつくり、地域で一緒に生活をしています。

## 取組の方向

取組は、次の3つの方向で進めます。

### とりくみ ほうこう 取組の方向1

にほんご べんきょう きかい  
日本語を勉強する機会  
を増やします

### とりくみ ほうこう 取組の方向2

ちいきにほんごきょういく にほんご  
地域日本語教育(日本語  
がくしゅうしえん さんか ひと  
学習支援)に参加する人  
を増やし、また、助けます

### とりくみ ほうこう 取組の方向3

かんけい だんたい  
関係する団体と、  
もっと協力します

## 取組を実現するためにすること

### とりくみ ほうこう1 にほんご べんきょう きかい ぶん 取組の方向1 日本語を勉強する機会を増やします

市内には、地域日本語教室など、日本語を勉強するところがたくさんあります。しかし、外国の人が増え、勉強の目的や勉強したいことも、いろいろです。勉強するところが選べるように、場所や目的の希望に合う日本語教室を、日本語教育の専門家と協力して行います。日本語を学びやすくし、情報を集めて知らせることを、もっと進めます。

とりぐみ 取組	やること
<p>1-1必要性や生活の 状況に合わせて 日本語が勉強できる ようにします</p>	<p>●いろいろな学習の希望に応えます いろいろな日本語教室（小学校に行く前の子どもと親が勉強するところ、子どもが勉強するところなど）を、他の団体と一緒に開きます。地域のことや勉強したいことを聞いたうえで、教室を開きます。</p> <p>●日本語教室を作ることを手伝います。 日本語教室が足りない地域で、新しい日本語教室を作ることを手伝い、日本語の勉強ができるところを増やします。</p>
とりぐみ 取組	やること
<p>1-2日本語を勉強する 場所などの情報を集 め、お知らせします</p>	<p>●日本語教室を紹介するデータベースをわかりやすく、みんなが使いやすくします。 日本語教室を探す人が、自分に合った教室をみつけられるように、データベースの情報を詳しく、わかりやすくします。</p> <p>●いろいろな団体と協力して、日本語教室だけでなく、日本語学校などの情報もわかりやすくします。 日本語を勉強したい人に、いろいろなところを紹介できるよう、日本語学校の情報も集めます。</p>

とりぐみ ほうこう  
取組の方向② 地域日本語教育（日本語学習支援）に参加する人を増やし、また、助けます

外国人が日本語の勉強でやりたいことが、広がっています。日本語学校や地域の日本語教室では、日本語学習を手伝う人が足りないことに困っています。そこで、いろいろな人が日本語学習を手伝い、活躍できるようにします。国際交流ラウンジ、地域の日本語教室、地域に住む日本人と外国人と一緒に、地域日本語教育（日本語学習支援）を手伝う人を新しく増やし、また、助けます。

とりぐみ 取組	やること
<p>2-1外国人の日本語 学習を、もっとい ろいろな人が手伝え るようにします</p>	<p>●地域の日本語教室などに、もっと参加できるようにします。 日本語学習の手伝いをしてみたい人に、説明会をします。いろいろな人が日本語学習を手伝えるようにします。</p> <p>●これから日本語学習を手伝う人に、研修をします。 若い人や日本語を勉強したことがある外国人が、日本語学習を手伝うチャンスを作ります。いろいろな人が手伝えるようにします。</p>
<p>2-2地域の日本語教室 や国際交流ラウン ジの活動を助けます</p>	<p>●地域の日本語教室などを助けます。 日本語教室を運営する人や、日本語学習を手伝う人に研修を行います。教室の困りごとが減るよう、運営のサポートをします。</p> <p>●国際交流ラウンジなどを助けます。 国際交流ラウンジで働く人が研修を受け、他のラウンジで働く人と知り合えるようにします。また、ラウンジがない地域の人と一緒に、その地域の日本語学習支援がもっとよくなるようにします。</p>

## 取組の方向3 関係する団体と、もっと協力します

外国人の、いろいろな日本語学習の目的に合わせます。そのために、関係する団体や人が問題点を知り、解決に向けてもっと協力する必要があります。地域日本語教育（日本語学習支援）を進めるセンター「よこはま日本語学習支援センター」でコーディネーターが働き、いろいろな人や情報の調整をもっと進めます。そして、いろいろな人・団体が協力することを助けます。

取組	やること
<p>3-1 地域日本語教育 （日本語学習支援） に関する、いろいろな団体や人とともに協力します</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本語学校などと、もっと協力します。 日本語学校や大学など日本語教育の専門団体と協力します。地域の日本語教育への理解を進め、日本語学習を手伝う人同士が協力できるようにします。</li> <li>●区役所や市の施設などと、もっと協力します。 区役所、図書館、地域ケアプラザなど、横浜に住む人が利用する市の施設の人などと、情報の交換や協力をします。</li> <li>●会社・企業と、もっと協力します。 関係する団体との連絡会や情報交換会を開きます。外国人が働く会社・企業で行っていることや、会社でのコミュニケーションの取組を、他の会社に伝えます。会社や団体が交流し、ネットワークを強くします。</li> <li>●関係するいろいろな団体と、もっと協力します。 子育てや福祉を手伝う団体、NPO など、いろいろな団体や人の得意なことをいかして、地域の日本語教育の取組をします。団体と団体が協力することを手伝います。</li> </ul>

## 地域日本語教育（日本語学習支援）を進める体制

地域の日本語教育を進める体制は、横浜市、横浜市国際交流協会、「よこはま日本語学習支援センター（以下「センター」という。）」が中心です。国際交流ラウンジ、地域の日本語教室、日本語学校、会社など、日本語学習を手伝う団体や人が協力して、地域の日本語教育を進めます。

### ●横浜市

国際局が中心となり、市役所のいろいろな局と協力しながら、地域の日本語教育（日本語学習支援）のしくみをつくり、進めます。国際交流ラウンジや地域の団体との協力、横浜に住む外国人に情報を伝えることは区役所と、会社との協力は経済局と、子どもの日本語教育は教育委員会と、子育て中の保護者を手伝うことは子ども青少年局となど、関係するところと協力します。

### ●横浜市国際交流協会（YOKE）

地域の日本語教育を進める中心となる「よこはま日本語学習支援センター」があります。横浜に住む外国人がどんな日本語学習をしたいかなどを理解し、いろいろな人や団体をつなぐなど、全体的な調整をします。



## ●よこはま日本語学習支援センター（YNC）

「横浜の地域日本語教育の体制づくりを進めるときに、中心になるところ」および「横浜に住む外国人の日本語学習を手伝うところ」です。総合調整会議を開く、日本語教育のコーディネーターが働くなど、基本となることです。

### ●総合調整会議を開きます。

地域日本語教育（日本語学習支援）や多文化共生などに詳しい人、地域の日本語教室・日本語学校・会社・外国人などが集まります。取組でできたことや問題点などを話します。また、取組が進んでいるか、目標に向けてうまくいっているかも確認します。

### ●地域日本語教育（日本語学習支援）を進めるコーディネーターが働きます。

横浜の地域日本語教育や多文化共生に詳しい、地域日本語教育コーディネーターがセンターで働きます。いろいろな団体との協力やネットワークづくり、日本語教室へのアドバイスなど、地域への訪問をして、地域日本語教育を進めます。

## ●国際交流ラウンジ

このプランの考えを理解し、ラウンジがある区の多文化共生、国際交流を進めます。必要なときに、日本語学習の情報をお知らせしたり、日本語教室が集まって話す連絡会を開くなど、日本語教室を助けます。また、日本語学習を手伝う人を育てたり、日本語教室を開いたりします。



## 【横浜の地域日本語教育の推進体制図】



### 【地域の日本語教室】

- 地域の日本語教室は、横浜に住む外国人が地域で一緒に生活するために、いろいろ手伝うところです。「生活で使う日本語を学ぶところ」「日本の社会や制度がわかり、生活の相談ができるところ」「一緒に住む日本人と外国人が、知り合い交流するところ」です。横浜に住む人が、自分たちで助け合う活動です。横浜で多文化共生を進めるのに、とても大切な活動です。
- 地域の日本語教室では、日本語の勉強だけでなく、日本語を勉強する人の、生活の困りごとがわかります。日本語教室は、自分たちで計画して教室を行います。そこでわかった生活の困りごとについて、いろいろな団体や人と話をして、横浜に住む外国人の暮らしを手伝うことが大事です。

つくったところ：横浜市国際局 2025（令和7）年3月